

授業科目 地域作業療法学実習

【担当教員名】 能村友紀、長谷川利夫	対象学年	3	対象学科	作業
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30
【<概要>又は<一般目標：G I O>】 地域作業療法を実践していくために必要な評価法と支援技術を得得する。 高齢者・障害者のケアマネジメントの視点と技術を学ぶ。				
【<学習目標>又は<行動目標：S B O>】 1. 地域作業療法の役割について述べるができる。 2. 地域作業療法に関わる多職種連携について説明できる。 3. 生活障害の捉えかた、生活の構造的側面について述べるができる。 4. 地域作業療法の評価について述べるができる。 5. 障害者自立支援法について説明できる。				
回数	授業計画又は学習の主題	SBO		
		番号	学習方法・学習課題又は備考	担当教員
1	地域作業療法の基盤と背景（地域医療の台頭、地域作業療法の理念と方法）	1	講義 演習	（能村）
2	地域作業療法を支える制度	1	講義 演習	（能村）
3	地域作業療法における多職種連携	2	講義 演習	（能村）
4	地域作業療法における評価法（生活障害の捉えかた、生活の構造的側面）	3.4	講義 演習	（能村）
5	地域作業療法におけるおける指導・援助法	4.5	講義 演習	（能村）
6	作業療法分野別実施拠点別評価・指導・援助法（介護保険：通所・訪問）	4.5	講義 討論	（能村）
7	”	4.5	講義 演習	（能村）
8	作業療法分野別実施拠点別評価・指導・援助法（介護保険：福祉用具・住宅改修）	4.5	講義 演習	（能村）
9	”	4.5	講義 演習	（能村）
10	作業療法分野別実施拠点別評価・指導・援助法（介護保険：介護予防）	4.5	講義 演習	（能村）
11	作業療法分野別実施拠点別評価・指導・援助法（障害者自立支援法：知的・身体障害児者）	4.5	講義 演習	（長谷川）
12	作業療法分野別実施拠点別評価・指導・援助法（障害者自立支援法：精神障害者）	4.5	講義 演習	（長谷川）
13	”	4.5	講義 演習	（長谷川）
14	”	4.5	講義 演習	（長谷川）
【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 （必ず購入する書籍）	小川恵子編：地域作業療法学、医学書院、2005.			
参考書	大田仁史編：地域リハビリテーション論 Ver3. 三輪書店			
その他の資料				
【評価方法】	【履修上の留意点】			
出席点 10%	1. 地域ケア体系は激変期にある。情報をネット・新聞・TVから常に収集すること。			
レポート点 20%	2. 保健・医療・福祉は在宅ケアへと大きくシフトしている。			
期末テスト 70%	地域における作業療法指導・援助の実態を見学することを勧める。			